

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

(3) ウ	隠れた支援や見えにくい支援の排除 外郭団体との競争性のない随意契約の見直し	<取組所管> ・取組：局・室
----------	--	-------------------

□ 3年間の取組と成果の総括

<ul style="list-style-type: none"> <li>・外郭団体との競争性のない随意契約に関し、事業の内容を精査した結果、事業の廃止や競争入札の導入を進め、目標を上回る実績を上げることができた。</li> <li>・残る随意契約についても、外郭団体への支援といった誤解を招くことがないように、具体的な理由等を検証し、その結果を公表することで、契約の透明性を高めることができた。</li> </ul>
---

□ 3年間の取組状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外郭団体への競争性のない随意契約による事業委託の見直しについて」に基づき、事業の廃止や競争入札の導入を進めた。</li> <li>・外郭団体と随意契約を行う必要がある場合は、外部有識者からなる外郭団体評価委員会で、その具体的な理由等を検証し、その結果を公表した。</li> </ul>
---

【取組の実施状況】 A

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
外郭団体との競争性のない随意契約の平成26年度の決算額について、対平成22年度決算額（321億円）比80%以上の減	平成26年度 88.8%の減 （平成26年度決算額 36億円）	①
外郭団体との競争性のない随意契約に関する見直し状況を評価できると認める市民の割合 平成26年度までに60%以上	平成26年度 64.7%	①

□ 課題と今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも外郭団体への支援といった誤解を招くことがないように、外郭団体との競争性のない随意契約については、その具体的な理由等を検証し、見直しを行っていく。</li> </ul>
---

※「実績」欄の平成26年度決算額は見込額。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった  
〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった